

令和6年度 予算編成方針

令和5年10月13日



I 令和6年度予算編成方針のポイント

人口減少対策の抜本的強化

- 人口減少による負の連鎖を克服するため、「若年人口の増加」、「婚姻数の増加」、「出生率の向上」の3つの観点から、人口減少対策を抜本的に強化。
- 新たに「**人口減少対策等重点施策推進枠**」を設定し、前年度予算から削減した額の3倍まで要求可とし、重点的な予算配分を実施。

デジタル化、グリーン化、グローバル化の取組など重点施策の推進

- 5つの基本政策等について、「デジタル化」、「グリーン化」、「グローバル化」の観点から、施策をさらに進化。※こうした施策も「人口減少対策等重点施策推進枠」の対象
- 物価高騰に伴い委託料等の経費が増加する中においても、必要な施策を実施できるよう、裁量的経常経費のシーリングを▲2%に緩和（H26～R5のシーリング▲5%）

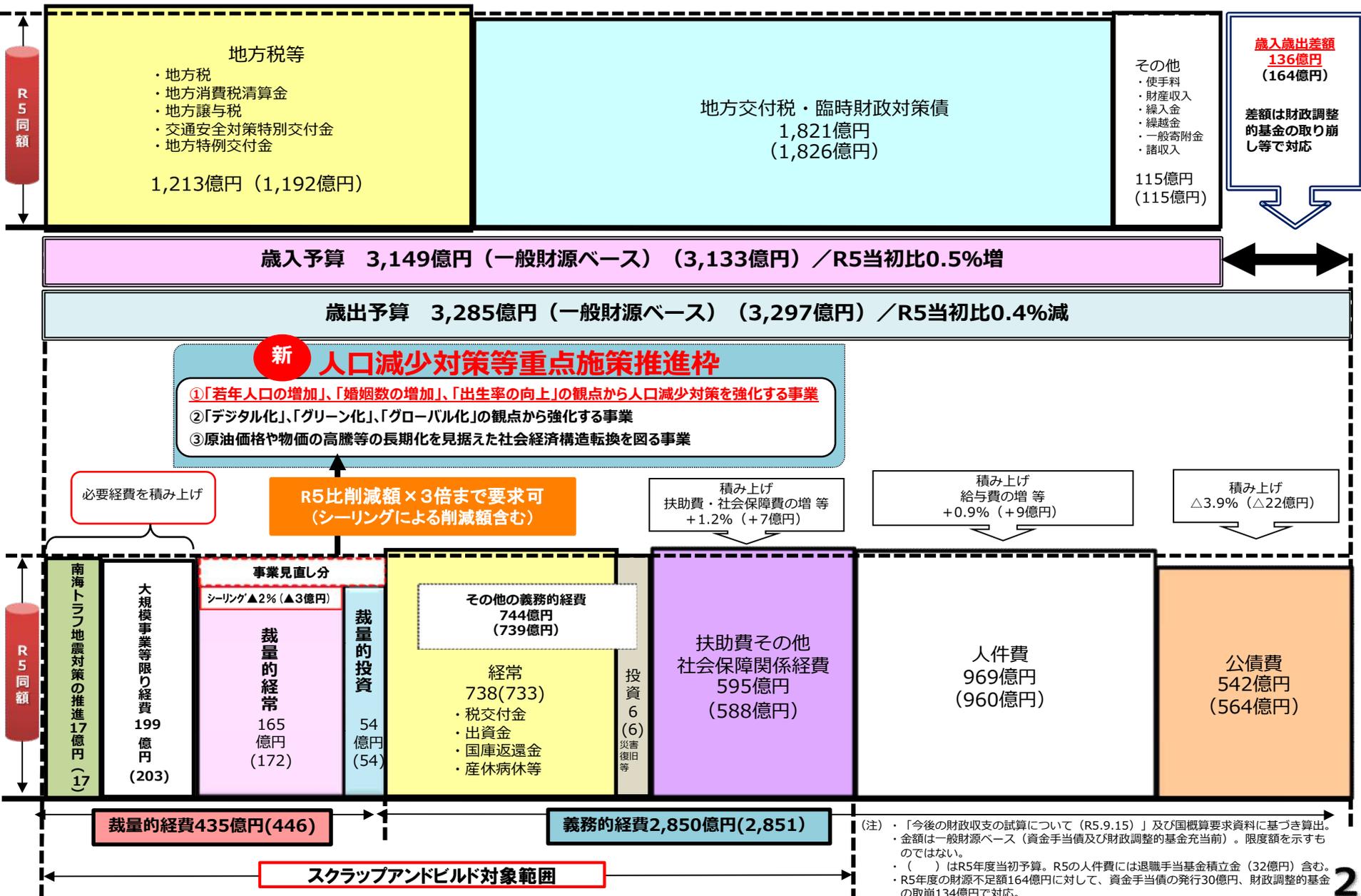
南海トラフ地震対策、防災・減災対策などのインフラ整備の推進

- 「第5期南海トラフ地震対策行動計画」に基づき、「命を守る」、「命をつなぐ」、「生活を立ち上げる」対策に必要な事業を推進。
- 県民の安全・安心の確保と地域経済の活性化を目指すため、インフラの整備と有効活用を推進。

県勢浮揚と県財政の持続可能性の両立

- 物価高騰対策をはじめ、国の動向に留意し、本県への影響を見極めた上で確実に予算に反映。
- 県勢浮揚に必要な施策を着実に実行する一方、国の有利な財源の活用や、事務事業のスクラップアンドビルドと行政のデジタル化による施策の有効性・効率性の向上により、県財政の持続可能性を確保。

II 予算要求フレームの考え方



Ⅲ 予算編成の主なスケジュール（予定）

令和5年 10月	○ <u>13日 予算編成方針通知</u>
11月	○ 13日 予算見積書提出期限
12月	○ <u>上旬 当初予算見積概要の公表</u>
令和6年 1月	○ 上旬 財政課長内示 ○ 中旬 総務部長協議、総務部長内示 ○ 下旬 知事査定
2月	○ <u>中旬 当初予算案記者発表</u>